

川のインストラクター養成講座 in 静岡 現地研修 (H18第4回)

(事務局：しずおか流域ネットワーク：http://www.ryuikinet.gr.jp/shizuoka/main.htm)

静岡での“川のインストラクター養成講座”は、21単位の講座を年間4回に分けて行っています。今回は、平成18年度第4回の現地研修について紹介します。



第4回は、徳川家康と関わりのある静岡市内を流れる安倍川の中流、上流において、小杉達先生を講師に迎え過去の洪水や土砂災害の歴史を振り返りながら「川と人・社会・文化の関わり」について実習し、また、秋山尚之さんを講師に“水循環の1つの経路・土砂循環の1つの経路”としての川の働きについて実習し(石の標本作り)、「体験活動の基礎技術」を身につけました。

日時：平成18年11月5日(日) 8:30～17:30
場所：安倍川中流・上流域(静岡市田町から梅ヶ島)、

中型バスに乗り移動

受講者：22名(+講師・スタッフ 7名、計29名)

行程：JR 静岡駅～静岡市田町(舟山周辺の河原で石の標本作り)～井宮町(薩摩土手、井宮神社)～牛妻(白髭神社)～平野(かぶと作り民家)～梅ヶ島(昭和41年土砂災害他)～大谷(日本3大崩れの大谷崩れ)～有東木(わさび田)～JR 静岡駅

講座内容：()内は単位数

- ・安倍川に学ぶ「川と人・社会・文化の関わり」・・・(2)
(元高校教師の小杉達さんを講師に迎え、400年前に徳川家康が静岡へ隠居した頃の街づくりとしての安倍川治水の歴史や堤防沿いの川除け地蔵にまつわる話を聞きながら、安倍川流域の歴史的背景と流域に暮らす人々の生活や安倍川への想いを教えていただきました。)
- ・土砂循環のメカニズムと石の標本作り (2)
(秋山講師を迎え、火成岩、堆積岩、変成岩の成り立ちや、地質構造体について学習し、安倍川と支川藁科川合流点の舟山周辺の川原にて石の標本作りを行いました。)
- ・日本3大崩れ大谷崩れとその対策について
(300年前の地震により発生した「日本3大崩れ」の1つである安倍川支川大谷川の大谷崩れと砂防事業について現地実習しました。)
- ・ブナ科の植物について 葉やどんぐりを使ったブナ科の植物の見分け方 (1)
- ・安倍川流域の地場産品であり、栽培わさび発祥の地有東木地区のわさび田を見学(1)



(川原で石の成り立ちを聞いて標本作り)



(薩摩土手脇の川除け地蔵を見学)



(安倍川流域に多く残る白髭神社)



(数少ないかぶと作りの家：市文化財)